

「処遇改善・なかまの声で」

現場環境の改善を約束
大成建設

単価4%アップ
大和ハウス

さらなる賃金引上げが必要
長谷工コーポレーション

駐車場代全額支給を約束
住友林業

第68回大手ゼネコン・住宅企業交渉
2018年10月25日・26日
東京土建一般労働組合



各企業の主な回答

2018年12月現在

企業名	産廃処理費 徴収なし	駐車場代 徴収なし	リフト代 徴収なし	民間工事 建退共証紙あり	建退共証紙 組合代理請求あり	公共現場 設計労務単価表 現場掲示あり
鹿島建設	▲（原則として）			▲（半分負担）	▲（個別対応）	▲（個別対応）
竹中工務店		▲（敷地内）	○	▲（半分負担）		▲（個別対応）
大林組	▲（原則として）			○		▲（個別対応）
大成建設		▲（公共敷地内）		▲（個々対応）		
清水建設				○		○
戸田建設	○			○	▲（任意組合のみ）	○
前田建設工業				▲（一部で）		
三井住友建設		▲（公共敷地内）	○	○	▲（個別相談）	○
西松建設		▲（敷地内）	○	○	▲（任意組合のみ）	
熊谷組		▲（公共工事）	○	○	▲（任意組合のみ）	○
東急建設	○			○		○
東洋建設				○	▲（やむを得ない場合）	○
フジタ		○	○	○		
浅沼組			○	○	▲（任意組合応相談）	
ピーエス三菱				○		
大豊建設		▲（敷地内）	○	○		○
佐藤工業	○			○	○	
長谷工コーポレーション	▲（一定量以内）	▲（敷地内）	○	▲（個々対応）		▲（個別対応）
五洋建設	○		○	○		
鴻池組		▲（敷地内）	○			
奥村組	▲（原則として）			○	▲（対応はする）	
銭高組		▲（原則として）	▲（土木では）	○	○	
鉄建建設		▲（公共工事）	○	○		○
東亜建設工業	▲（原則として）		○	○	○	
飛島建設	▲（原則として）	▲（原則として）	○	○	○	▲（検討）
松井建設				○	○	
NIPPPO	○	▲（原則として）	○	○		
大日本土木				○	○	
安藤ハザマ				○		
きんでん					○	
関電工	○	▲（敷地内）		○	▲（個別相談）	
ダイダン				○	○	
新菱冷熱工業	○	○	○	○		
高砂熱学工業	○	○	○			
積水ハウス	○					
大和ハウス工業	○	○	○	▲（一定基準有）		
住友林業	○	○	○	▲（半分負担）		
ミサワホーム	○	○	○			
三井ホーム	○	○	○	○		
大東建託	○			○		
旭化成ホームズ	○	○	○			
積水化学工業		○	○			

賃金・単価 引上げ 具体策

設計労務単価が6年連続で上昇しましたが、現場で働く仲間は「賃金が上がった」という感覚は薄く、今回の交渉でも「元請としてどういった対策を行ったか」を争点に交渉を行いました。結果・・・

大成建設

一次事業者への見積り依頼の際、公共工事設計労務単価表を添付し、見積り作成を行うよう指導している。また、契約時には「技能労働者設計労務単価の引き上げの趣旨にかなう適切な賃金の支払いを行うよう努める」という文言を特約に盛り込んだ。

大林組

積算する労務単価を一割程度引き上げた。引き上げの趣旨を協力会社へ説明し、作業員へ適切な賃金を支払うよう指導している。

長谷工コーポレーション

技能労働者の年収ベースでは8万5千円程度上昇したが、日建連の提言（年収530万）に近づけるために更なる賃金引上げが必要。

フジタ

労務単価は社会保険料を算定するため純粋な賃金を明示してもらっている。労務費を価格交渉の材料にはしていない。



現場の問題は組合へ。その一言が企業を動かします。

西松建設

9月に常用賃金単価を改定。10%引き上げた。具体的には、とび工で3万円、土工で2万5千円とこの5年間で常用単価を25%引き上げている。

大和ハウス

発注単価を平均で4%程度引き上げたほか、技能が優秀で指導力がある、技能士の資格を有している等、基準を設け賃金の上乗せ制度（増額）を実施している。日当で3千円程度の上乗せ。また、30歳未満の技能者を雇用した事業所に対し、月額5〜8万円の補助金を最大2年間支給している。

現場・労働環境改善策

東京・丸の内建設現場の仲間から告発された、労働環境の劣悪さが象徴されるように、現場で働く仲間は、日々、過酷な環境で働いています。多くの仲間から寄せられた現場・労働環境について追及しました。

竹中工務店

有明3の1現場において腰痛によってラジオ体操が出来なかった作業員に対し、罵声を浴びせた上、現場退場を強いた件については、

困る顧客情報と技術情報に限定をした。また、丸の内3の2計画現場では、熱中症対策が不完全であったことを認めた。「環境上、非常に暑い中で作業を敷いたことは良くなかった。今回の事例を糧に労働環境改善に前向きに取り組んでいく」と回答を引き出すことが出来た。併せて「現場における改善要求がある場合、直接現場での打合せなどで行ってもらいたい。言えない場合などは組合を通じて大成建設本社へ伝えていただきたい」との回答も勝ち得ることができました。

その他の成果

住友林業

交渉当日、住友林業に従事している仲間から「駐車場は自分で探し、自分で駐車場代を負担している。住友林業で負担してほしい」という訴えを行い、これに対し住友林業は「駐車場代金は全て負担する。何かあれば、連絡をしてほしい」と従事者の要求を受け入れる回答をしました。

大林組

「複数の現場で建退共の証紙を請求することができない。このことは暗黙の了解になっている」と従事者が告発したところ、大林組は「それはシヨックだ。現場名が判明したので一次協力会社が集まる場で、そのようなことのない

「体操ができない」と現場でケガをする可能性が高い判断を現場所長がした可能性が高い。しかし、罵ったことはあってはならないこと。今後このようなことがないよう指導する」と回答。

また、夏場に防暑たれの着用を義務付けている現場において、暑さが和らいだ9月に着用する・しないでもめたことで、現場退場をさせられた事に関し、「行き過ぎた指導であった」と今後このようなことのないよう心がけるとしました。

大成建設

新国立競技場建設現場では、現場で見聞きした情報を、外部に漏らさないよう誓約書を作業者から徴収したことで、労働安全に関わることも現場の仲間は告発することが出来なかったことに関し、誓約書をとることは中止し、秘密にする情報の範

大日本土木

よう指導する」とし、民間工事でも全て証紙を交付することを約束しました。

働き方改革で週休2日が始まっていくが、日給月払いの慣例が根強く残る建設産業では、1日働く日数が減れば、賃金が減ってしまうことが参加者からだされました。これに対し「8時から17時の労働で月22日稼働を前提に見積りをしてもらうようにする。稼働日数が減った分の補填は当然である。協力業者と協議をする」という回答を得ました。

鹿島・大成建設

全建総連との交渉は議事録として残しているという回答を2社ともしています。「議事録は必ず社長も目を通して」と企業交渉の重要度が認識できる回答をしました。

